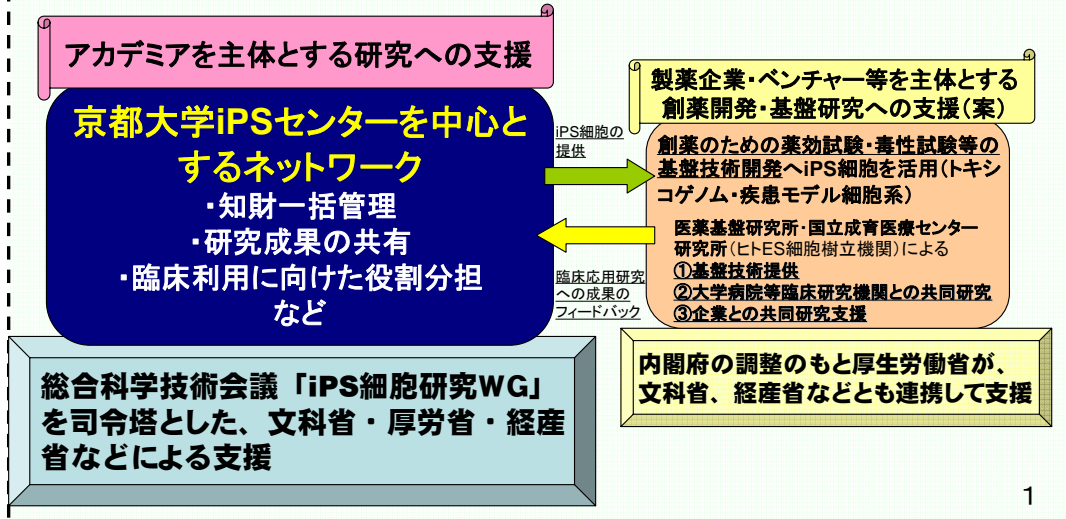


iPS細胞の実用化に向けた新たな支援策(案)

iPS細胞実用化への出口拡大のためには、アカデミアによる研究への支援のみならず、製薬企業・ベンチャーによる創薬基盤研究等への支援も行うことで、製薬企業研究も含めた「オールジャパン」体制を構築することが必要

産・官・学連携による「チーム山中」の形成



1

現在の産学官の連携に関する状況

- レギュラトリーサイエンスへのiPS活用の要素技術開発
 - 医薬基盤研究所、国立成育医療センター、国立医薬品食品衛生研究所等関連機関で実施予定—
 - 医薬基盤研究所と京都大学の間での医薬品の安全性評価系(トキシコゲノミクス・プロジェクト)に関する共同研究を開始予定。
※現状は製薬企業は絡まないが、製薬企業との将来的なアライアンスを検討中。
 - (厚労科研費 生物資源・創薬モデル動物研究)有効性評価系に関する技術開発を開始予定(国立成育医療センター・医薬基盤研究所)

2